

◎この一覧表においては、システム上の大分類を「災害」と、中分類を「事案」とする。

項目	機能概要	
共通機能		
ログイン	1	システムにID/PW入力にて、ログインできること。
	2	ログインユーザ名を表示すること。
	3	システムからログアウトできること。
	4	市本部ユーザーにて、ユーザー名の変更や権限の変更などの管理・編集ができること。
	5	市本部ユーザーによって、各マスタの編集ができること。
操作	6	各種機能の説明や情報の入力要領など、システムのガイダンス又はヘルプ機能等を有すること。
	7	入力データの漏れやエラーを利用者に画面上で通知すること。
	8	同一事案において、複数のユーザーにより情報を同時に更新できないよう制御を行うこと。
	9	ログイン情報により、アクセスできる機能や編集・管理できる機能を制限できること。 例：市本部ユーザー・一般ユーザー・テストユーザー
入力	10	画像を取り込み、通報受付・対応状況・対応結果情報と関連付けて管理することができること。
訓練機能	11	実際の運用環境（災害対応用環境）に影響を与えず、情報入力訓練等が実施できる機能・モードを有すること。
災害名	12	災害名を作成・管理できること。
	13	災害の状態・制御管理（対応中、終結など）ができること。
	14	対応者、対応状況等の情報が共有できること。
	15	事案の複数管理が出来ること。
	16	過去に発生した災害について、災害名を選択し、入力された情報を参照・編集できること。

項目		機能概要	
サマリ地図	17	平時・発災時・訓練時などの利用シーンに応じて、利用モードを選択できること。 (モードとしては、平時、実災害、訓練を選択)	
	18	各種情報を地図上に色分け表示できること。	
	19	以下の情報を地図上に色分け・アイコン表示すること。 気象情報、地震情報、河川情報、雨量・水位、本部設置、避難発令情報、避難所、事案情報、ハザードマップ	
	20	登録されたクロノロジーに対して、受付数、重要度毎の件数、対処状況毎の件数、要望件数、対処内容件数、対処内容の対処状況毎の件数を表示すること。	
クロノロジー	21	クリックにより、各情報に遷移できること。	
	クロノロジー		
基本機能	22	対応状況を一覧で表示し、管理できること。	
	23	各種情報を自動集計し、クロノロジー管理できること。	
	24	クロノロジーに反映された項目は、手動で編集・追加・削除ができること。	
	25	クロノロジーの登録状況に変化があった際に、即時更新もしくは一定時間間隔ごとに自動更新され、画面表示に反映されること。	
個別機能			
受付	26	被害に関する情報を登録し、修正することができること。	
	27	事案に受付番号が自動で付番できること。	
	28	通報受付状況から対応状況、対応結果までを一連で入力・管理できること。	
	29	通報受付状況・対応結果の入力情報を網羅した帳票の出力ができること。 ※災害現場へ持参することや内部報告資料として活用することを想定している。	
	30	情報入力・更新の履歴（日時、報告者等）が表示できること。	

項目		機能概要	
		31	本部ユーザーの権限により、重複事案は名寄せでき、誤報事案は非表示にできること。
		32	通報受付、対応状況、対応結果について、事案の一覧を表示できること。
		33	登録した事案について、「未対応・対応中・対応済」など、状況の表示が、一覧や地図上で表示できること。
	トリアージ	34	通報受付情報入力時に、対応の優先度について、「高・中・低・なし」など、段階を設定し、一覧や地図上で表示できること。また、対応を終えても危険が残る場合には、その旨表示できること。
	情報共有	35	被災状況や対応依頼が通知されること。また、アラート音やフラッシュ、パトライトなどと連携し、端末を注視せずとも受信が容易にわかること。 なお、外部機器を接続する場合は、受注者負担とすること。
避難所			
管理		36	避難所の開設・閉鎖状況を管理・編集できること。
		37	収容人数等の収容状況を登録し庁内で共有できること。
		38	開設状況は、SNSや市HP、防災ポータルなどを通して、各機関や住民へ告知可能であること。
		39	各避難所状況（開設/閉鎖）を地図上にアイコン表示（アイコン色分け/概要表示）できること。
		40	避難所側から、タブレット端末を用いて、支援要求が行えること
		41	避難所の各種情報を管理するデータベース機能を有すること。
		42	避難所データの「追加・削除・詳細情報の変更」など、情報の修正を管理権限ユーザーが任意に行えること。
避難者情報		43	避難者数は、項目ごとに人数管理ができ、かつ、任意に入力する自由記入欄を有すること。 例：総数〇名、高齢者〇名、ペット〇匹（犬〇匹、猫〇匹）
		44	避難者数は、現在の避難者数と避難者の累計を別に管理できること。 例：2世帯2名の避難者のうち、1世帯1名が帰宅した場合 現在の避難者：1世帯1名 避難者の累計：2世帯2名

項目	機能概要	
地図		
地図機能	45	災害名称ごとに入力された通報受付・対応状況・対応結果に係る情報をアイコンと共に地図上へ反映すること。
	46	指定した条件（期間や被害種別）の通報受付・対応状況・対応結果を地図上に表示できること。 例：2022～2025年の間に入力した、「がけ崩れ被害」のみ地図上へ表示
	47	地図上に表示された各種情報のアイコンを選択して、情報を編集できること。
	48	各種情報のアイコンについて、地図上で表示・非表示の選択ができること。
	49	システム上で表示される地図は、常に最新バージョンの地図情報とすること。
	50	スクロールにより地図の移動や、拡大・縮小が可能なこと。
検索	51	住所（地番）検索ができること。
	52	システム上で表示される地図の目標物を検索して位置を表示できること。
	53	座標値（緯度経度）によって、場所の特定ができること。
地図描画	54	作戦地図上に作図できること。
レイヤ	55	本市の求めに応じて各種レイヤを登録し表示できること。 ※道路図や水路図
	56	雨雲の動きや土砂災害危険度分布など、リアルタイムの気象情報を地図上へ反映すること。
	57	リアルタイムの雨量観測局、河川の水位観測局、ライブカメラの情報を固有のシンボル（地図記号）と共に地図上へ反映すること。
	58	気象情報や各観測局の情報が設定した一定の値を超えたことを知らせる機能を有すること。
印刷	59	地図印刷機能を有し、複製印刷に係る費用が別途発生しないこと。

項目	機能概要	
備蓄		
管理	60	物資管理機能を有すること。
	61	品目ごとに在庫管理ができ、期限が近づいた場合、通知やメールが発信されること。
	62	各備蓄場所ごとに在庫管理ができ、分散備蓄での管理にも対応すること。
外部連携 (入力)		
気象情報	63	受信した防災気象情報を表示すること。
県システム連携	64	兵庫県防災情報システムとCSV連携すること。 連携の際は、県と直接協議すること。
拡張性	65	他のシステムと連携する入力インタフェースを設けること。 例：消防指令システム、水位センサー等（詳細は協議とする）
	66	構築後、他のシステムとの連携を求められた際に、候補業者にインターフェースを開示すること。 例：消防指令システム、水位センサー等
外部連携 (出力)		
配信	67	システム上で編集した文面を、NTTドコモ・KDDI・ソフトバンク・楽天モバイルの緊急速報メール（エリアメール）サービス向けに配信できること。
	68	職員参集メール機能を有すること。 アンケート機能を有すること。 各アカウントから利用できること。 ※本市が現在使用している「すぐメール」との連携でも可。
防災ポータル (市民向けインターネットサイト)		
観測情報	69	システムにより取得した河川の水位情報を公開できること。
	70	システムにより取得した雨量観測局の情報を公開できること。
気象情報	71	市民向けの気象情報（天気予報）を配信できること。

項目		機能概要	
リンク機能	72	各種Webサイトへのリンク機能を有すること。	
	73	各種Webサイトへのリンクは任意に編集できること。	
避難所情報	74	避難所の位置、開設避難所、混雑情報などの情報が公開できること。	
地図機能	75	本市が避難情報を発令する際に、職員の操作により、指定する避難情報の発令対象地域をポータルサイト内の地図上で表示できること。	
	76	ポータルサイト内の地図上でハザードマップを表示できること。	
安定性	77	アクセス数が増加した場合に備え、レスポンスタイムを維持するための措置を講じること。	